

# いつでも安心して運転できるようにドライバーをサポートします

「危険が顕在化していない」場合でも、運転操作の負荷を軽減したり、夜間や駐車時の視認性を良くするなど、安全な状態を維持できるようにドライバーをサポートします。

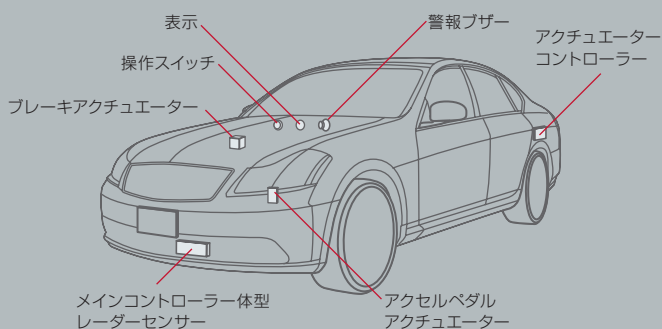
## 車間維持支援システム

(開発中)

車間維持支援システムは、車両前部に設置したレーダーセンサーによって得られた情報を基に、少しでも危険に近づけないよう先行車両との車間距離を維持することを支援します。例えば、ドライバーがアクセルペダルを戻したとき、または踏んでいない時には、システムがブレーキを作動させ、ドライバーが車間距離を維持することを支援します。

先行車両が減速した時など、ドライバーのブレーキ操作が必要とシステムが判断した場合には、インストルメントパネルへの表示と音でドライバーへ報知するとともに、アクセルペダルを戻す方向に力を発生させ、ブレーキペダルへの踏み替えを支援します。

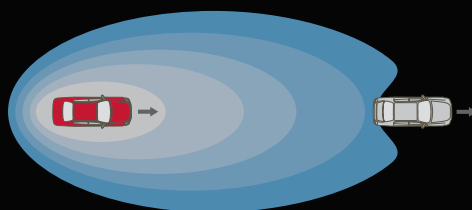
これらの機能によって、煩雑なブレーキ操作が必要となるような交通環境において、ドライバーの運転負荷を軽減します。



### 先行車両に近づいた場合

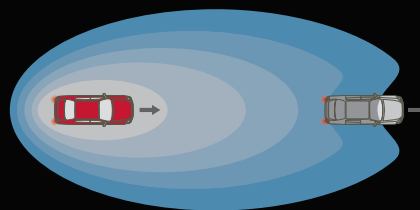
ドライバーがアクセルペダルを戻したとき、システムがブレーキを作動させ\*、ドライバーが車間距離を維持することを支援します。

\*ドライバーがアクセルペダルを踏んでいないときに限り、システムがブレーキを作動させます。



### ドライバーのブレーキ操作が必要な場合 (先行車両が減速したときなど)

表示と音でドライバーへ報知するとともに、アクセルペダルを戻す方向に力を発生させ、ブレーキペダルへの踏み替えを支援します。

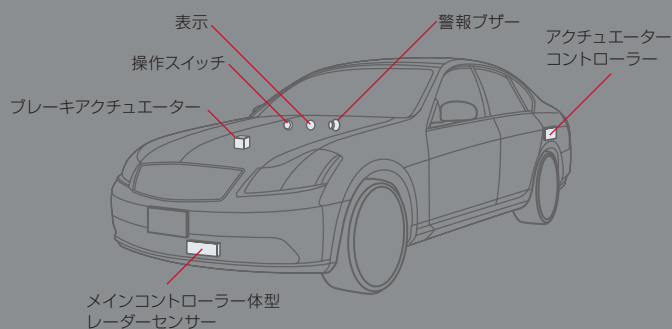


車間維持支援システムの作動例

## インテリジェントクルーズコントロール(低速追従機能付)

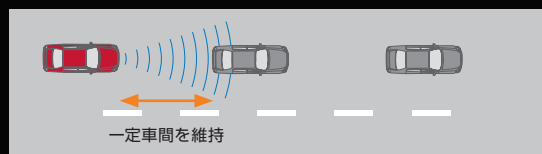
インテリジェントクルーズコントロールは、車両前部に設置したレーダーセンサーからの情報により、先行車両がいる場合には、あらかじめ設定した車速(約40~100km/h)に応じてクルマが車間距離を一定に保つよう制御、前方に車両がない場合には設定した車速を維持します。

低速追従機能付では、約40km/h以下の低速走行時においても、自車線前方の車両に対して、車速に応じた車間距離を保って走行することができるため、高速域だけでなく、渋滞時などにおいてもドライバーの運転負担を軽減します。また、このシステムは「インテリジェントクルーズコントロール」と「低速追従機能」の切り替えを自動的に行うことができ、利便性をさらに高めています。

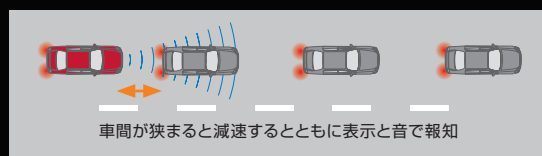


### 低速追従機能

自車線前方の走行車両をセンサーが検知しているとき、車速約10~40km/hで走行中にドライバーがセットスイッチを押すと、車速約40km/hを上限に、車速に応じた車間距離を保って走行します。また自車線前方の走行車両を検出しなくなった場合は、作動を解除します。



自車線前方の走行車両が減速した場合は、減速するとともに、ドライバーのブレーキ操作が必要な場合には、インストルメントパネルへの表示と音で報知します。また、車速が約5km/h以下になると、作動を解除し、表示と音でドライバー自身によるブレーキ操作を促します。

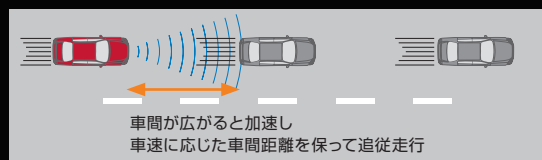


### 「インテリジェントクルーズコントロール」 ⇔「低速追従機能」の切り替え

「インテリジェントクルーズコントロール」で追従走行中、前方走行車両の減速により、車速が約35km/hを下回ると、「低速追従機能」へ自動的に切り替わります。



「インテリジェントクルーズコントロール」の設定車速が設定されているとき「低速追従機能」で追従走行中、前方走行車両の加速により車速が約40km/hになると、「インテリジェントクルーズコントロール」へ自動的に切り替わります。



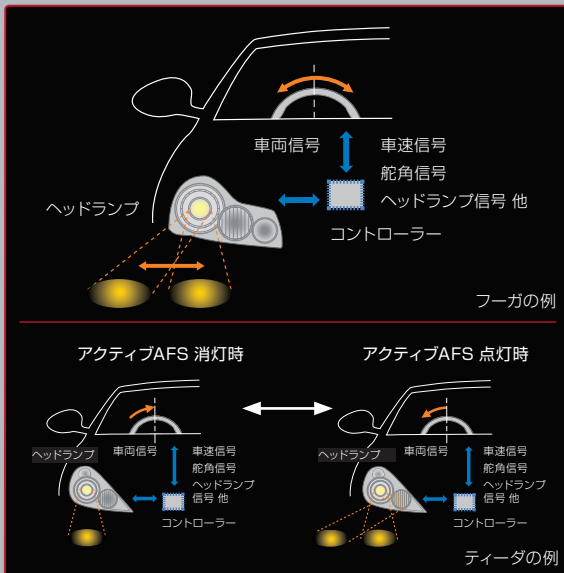
インテリジェントクルーズコントロール(低速追従機能付)の作動例

## アクティブAFS (Adaptive Front Lighting System)

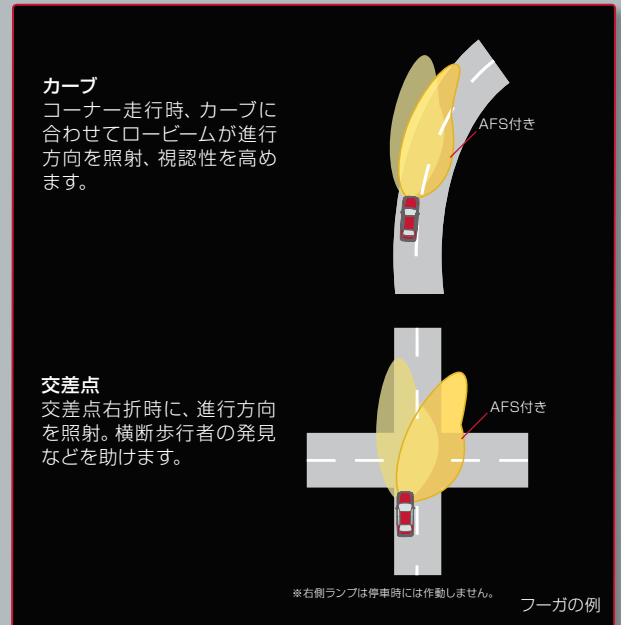
アクティブAFSは、カーブを曲がる時などに、ステアリングの舵角や車速に応じて、車両の進行方向のロービームを作動、配光を変化させ、車両の進行方向をより明るく的確に照らし出します。

カーブやコーナーにあわせ進行方向を照らすことで、道路状況や歩行者などの視認性を高めます。

人対車両の死亡事故の多くは夜間に発生しており、夜間の視認性向上は事故低減に非常に有効です。



システム構成



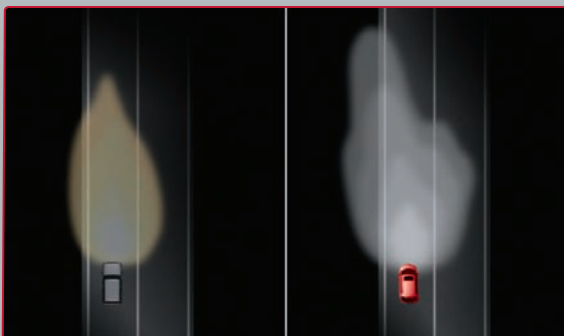
アクティブAFSの効果

## キセノンヘッドランプ

キセノンヘッドランプは、非常に大きな光量と太陽光に近い白色の光を持つヘッドランプです。自然で見やすく夜間運転の安心感を高めます。

ハロゲンヘッドランプ

キセノンヘッドランプ



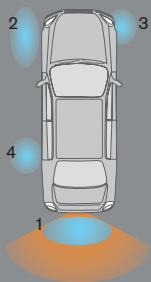
照射イメージの比較



キセノンヘッドランプ

## バックビューモニター

バックビューモニターは、クルマの後部に取り付けたカメラの映像を、インストルメントパネル上のモニターに表示するシステムです。お客様が一番不安を感じる後方の死角を減らし、車庫入れなどを容易にします。



お客様が気になる  
死角の順位(弊社調べ)

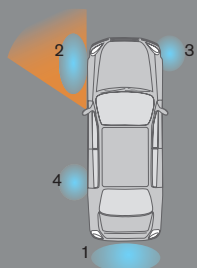


カメラ

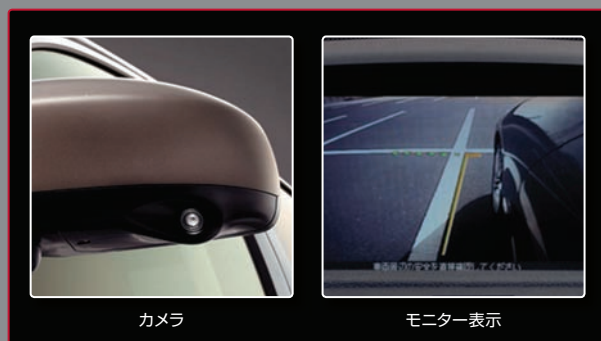
モニター表示

## サイドブラインドモニター

サイドブラインドモニターは、ドライバーにとって、ボンネットによる死角となり見づらいクルマの左前方を、サイドミラーに取り付けたカメラにより撮影、インストルメントパネル上のモニターに表示します。これにより、路肩などの確認がしやすくなり、幅寄せや駐車が安心して行えます。また赤外線LEDによる照射により夜間でも使用可能です。



お客様が気になる  
死角の順位(弊社調べ)



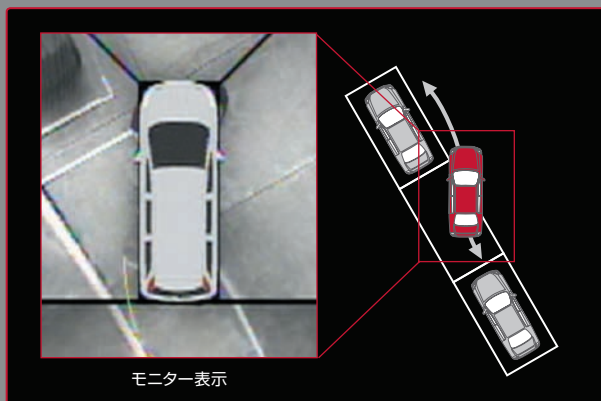
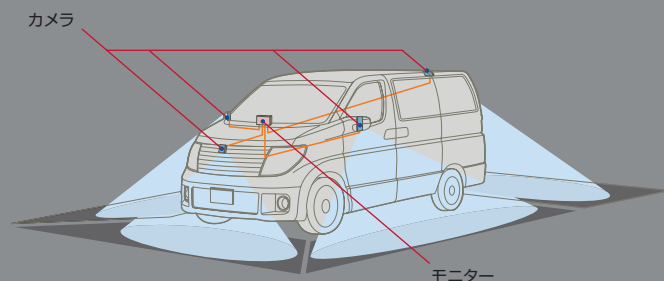
カメラ

モニター表示

## アラウンドビューモニター

(開発中)

アラウンドビューモニターは、車両の前後左右に取り付けたカメラの映像を合成し、路面の駐車枠と自車両の位置関係をインストルメントパネル上のモニターに表示します。これによりパーキングスペースに簡単に駐車できます。他社に先駆けて採用を進めているバックビューモニターとサイドブラインドモニターをさらに進化させ、自車の周りの路面をリアルタイムでわかりやすく表示する、実用性の高い技術です。



モニター表示